

協働・循環型  
「やまがた創生」人材育成事業  
【概要】

山形大学COC+申請事業

# 山形大学改革の方向性

## 使 命

地域創生

次世代形成

多文化共生

## 第3期中期目標期間

地域に貢献する取り組み、  
強み・特色のある分野で世界ないし全  
全国的な教育研究を推進する取り組み  
⇒「協働・循環型「やまがた創生」人材  
育成事業」の推進など(重点支援①)

## 教育改革の実績

### 地域創生 の推進

### これまでの事業取り組み

「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」H24-  
「美しい山形を活用した社会人力育成山形講座の展開」H24-  
「実践教育プログラム」H25-  
COC事業「自立分散型(地域)社会システムを構築し、運営する人材の育成」H25-

## COC+事業

本学の使命である『**地域創生**』を加速し、継続的な教育改革を実施

# 山形大学COC+事業の目的・概要

## COC+大学の目的・目標を踏まえた地方創生

これまでの事業成果

### 地域連携

- ・山大COC事業
- ・エリアキャンパス最上

### 大学間連携

- ・大学コンソーシアムやまがた
- ・FDネットワークつばさ

### 地方創生事業

- ・東北創生研究所
- ・有機エレクトロニクス研究
- ・地域と共同研究等54件

### 参加大学事業

- ・東北公文大COC事業

COC+事業の目的・概要

協働人材育成部会の活用  
(コーディネーターによる主催)  
事業協働機関と共に地方創生  
に向けて人材育成

1. **学外研修科目**  
⇒仕事に主体性と責任を持つ人材
2. **課題解決科目**  
⇒地域課題を解決する人材
3. **協働研究科目**  
⇒地方創生のリーダーになる人材

COC+事業の成果目標

5年後の数値目標

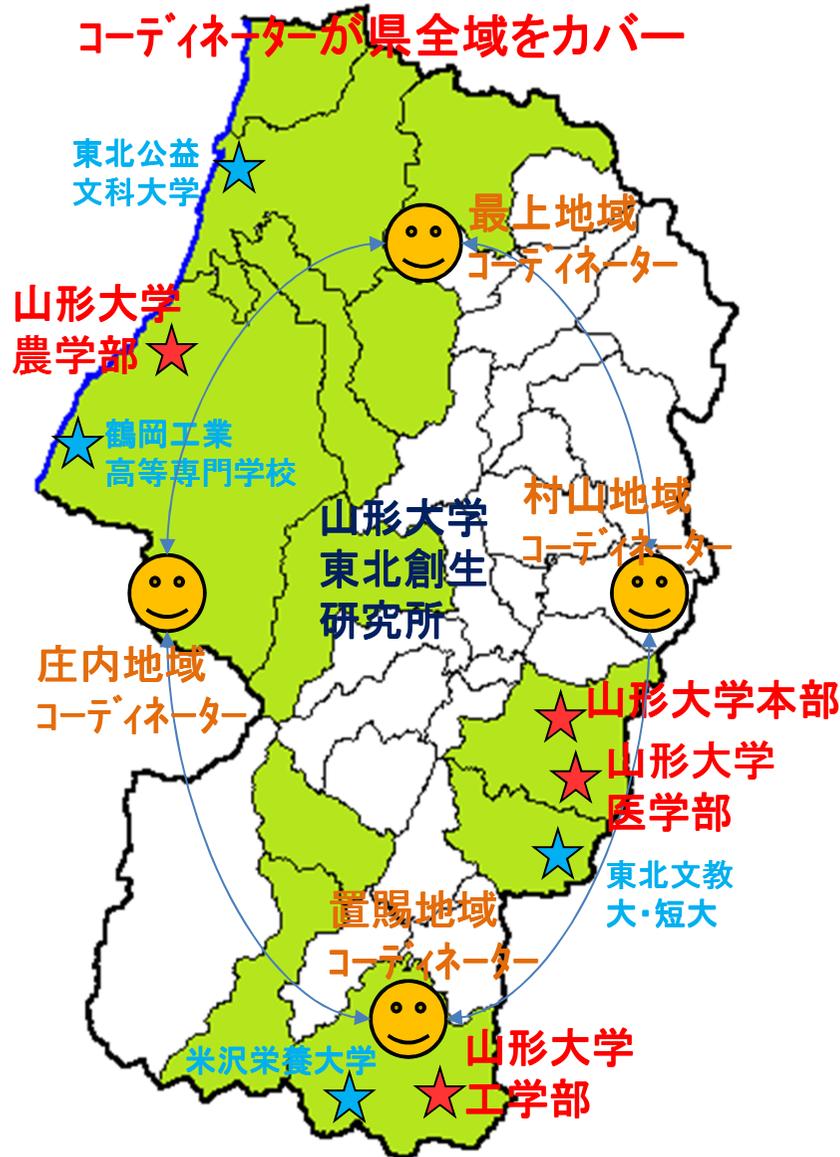
- 地元就職350人(100人増)
- 地元就職率35%(10%増)
- 大学発ベンチャー起業5件  
(以上は山形大学のみ)
- 雇用創出150人  
(事業協働機関企業125人、  
ベンチャー企業25人)
- 寄付講座4講座
- 奨学金基金制度創設
- 事業継続基金設立

第3期中期目標  
・中期計画

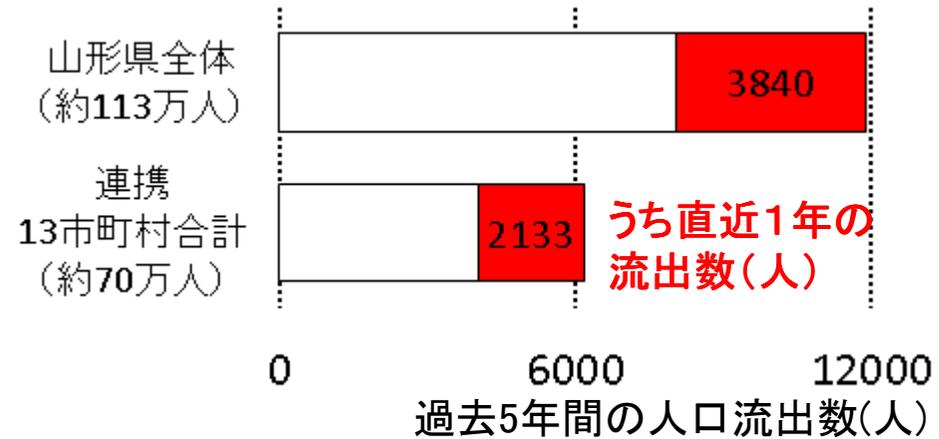
地域と地方大学が抱える課題を解決し、  
「地域創生」を牽引するモデル大学

# 事業協働地域の課題

35市町村中13市町村が参加  
コーディネーターが県全域をカバー



過去5年間で人口の1%が県外へ流出しており、特に直近1年間の人口流出が激しい。



事業協働地域の課題解決に向けて(抄)  
-自治体における取り組み-

- 山形県【第6次山形県教育振興計画】平成27年策定「地(知)の拠点整備事業」の展開等、研究を通じた人材育成への取り組みを支援する。
- 酒田市【酒田市総合計画後期計画】平成24年策定 東北公益文化大学と連携して大学まちづくりを支援。
- 米沢市【米沢市まちづくり総合計画後期計画】平成23年策定 山形大学工学部・米沢栄養大学などと連携して共同研究を支援。
- 飯豊町【第4次飯豊町総合計画】平成26年策定 地域資源を活かして大学との連携による起業の支援。

事業協働地域と共に課題を明確化して解決へ取り組む

# 山形大学の教育カリキュラムの構築・実施

地域が求める人材像  
⇒3つの重要な要素を抽出

- 山形大学ディプロマポリシー
- 県内企業ヒアリング
- 山形労働局アンケート(2015年3月)

開発する教育カリキュラム  
1学年1600人を対象

**地域連携科目**(1年次)  
COCの地域志向科目の必修化

**高いコミュニケーション能力**  
(高い協調性)

**学外研修科目**(2-3年次)8科目  
例:企業活動インターンシップ  
(工業団地で就業体験など)/2科目まで

500人  
以上履修

**課題解決能力**

**課題解決科目**(2-3年次)8科目  
例:地域社会の課題解決  
(町おこしPBLなど)/2科目まで

500人  
以上履修

**自由な発想力**

**協働研究科目**(4年次以降)9科目  
例:地域産業との協働研究  
(事業立ち上げ経験など)/1科目まで

500人  
以上履修

## 【協働人材育成部会の役割】

コーディネーターが開催し、学生、教員、地域の大人・高校生が科目を開発・展開。  
⇒教員FD、コミュニティ活動、高大連携などにつなげる

各分野のスペシャリストが教育を担当

最終年度には3科目群のいずれも1科目以上を  
卒業学年の500人(就職希望者の50%)が履修

# 事業の実施体制と情報の公開・成果の普及

## 地方創生事業

やまがた創生戦略協議会(年2回)  
座長: **山形大学長**  
参加: 事業協働機関代表

Plan

Do

協働人材育成部会(毎週)  
リーダー: **コーディネーター**  
総合計画策定、地域課題の解決、産業創出

Check

Action

成果目標の達成  
雇用創出150人  
ベンチャー起業5件

アドバイザーボードの開催(年1回)  
シンポジウムの開催(年1回)  
報告書・季刊誌・全国会議での報告

**コーディネーター**を活用して  
全学的に共有

## 教育改革

教育プログラム開発委員会(年6回)  
座長: **山形大学副学長**  
参加: 参加大学・県代表

Plan

Do

協働人材育成部会(毎週)  
リーダー: **コーディネーター**  
教育科目開発、シラバス作成、教員FD、高大連携

Check

Action

成果目標の達成  
開発科目受講500人  
地元就職率35%

協働人材育成部会は、  
**自治体・企業・金融機関の人材**が参画  
【コストシェア】  
役場・企業・銀行・ワーキングプレイス・学校などで開催  
ほか、実務家教員派遣、奨学金制度、事業継続基金の分担、寄付講座設立など

PDCAサイクルによる事業の確実な実施体制を実現